



DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号 4 1 1 1

サビシヤット

1. 一般名 塗布形素地調整軽減剤
2. 規格 社内規格
3. 特徴 1) 防食性にすぐれている。
2) さび層への含浸・強化性にすぐれている。
3) 素地調整工程が軽減できる。
4) NETIS登録番号：KT-060143-VE

4. 性状

項目	内容			
容姿	2液性			
荷姿	1.2kg \times 10(A液：1.0kg、B液：0.2kg) 2.4kg \times 10(A液：2.0kg、B液：0.4kg) 6.0kg \times 10(A液：5.0kg、B液：1.0kg)			
色相	乳褐色			
光沢	—			
密度 (23°C)	塗料	1.08		
	揮発分	0.87		
加熱残分	55%			
乾燥時間	温度	5°C	20°C	30°C
	指触	2時間	1.5時間	1時間
	半硬化	5時間	3時間	2時間
標準膜厚	—			
引火点	SDS参照			
発火点	SDS参照			
爆発限界(下限~上限)	SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

6. 使用上の注意

- 被塗面の塩分、油脂、湿気、塵埃、水分その他の有害な付着物は完全に除去する。付着力のない浮きさびはマジロン等で除去する。この際、1点式電磁膜厚計を用いて、30cm \times 30cmの範囲のさび層の厚みを9点測定し、その最大値が100 μ mを越える場合はディスクサンダー等を併用して100 μ m以下にする。
- B液は顔料分が缶底部に沈殿しやすいため、開缶前に十分攪拌して均一な状態にしてから使用すること。
- 使用時には、A液とB液を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な状態にしてから塗布すること。
- A液とB液を混合した後は、可使用時間以内に使い尽くすこと。
- 塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので必ず規定時間以内で塗り重ねを終了すること。尚、規定時間以上経過した場合は、塗布表面をサンドペーパー或いはパワーブラシ等にて研磨し、さらにウエスで拭いて調整してから再塗布すること。
- 塗布作業終了後は塗布器具を直ちに洗浄すること。洗浄には必ずウレタンシンナーまたはラッカーシンナーを使用すること。
- 塗布後短時間以内に雨に当たると塗面が白変する恐れがあるので注意のこと。
- 高湿度(85%RH以上)の時の塗布作業は避けて下さい。可使用時間が短くなったり、塗布面が発泡することがある。

5. 塗布基準

項目	内容			
素地調整	「6. 使用上の注意(1)」参照			
混合割合	A液：10部、B液：2部(重量比)			
可使用時間	5°C	20°C	30°C	
	9時間	5時間	3時間	
洗浄シンナー	ウレタンシンナー、ラッカーシンナー			
塗 装 法	塗布方法	刷毛塗り、ローラー塗り		
	希釈率	—		
	標準使用量	0.10kg/m ²		
	標準膜厚	—		
	ウェット管理膜厚	—		
塗 装 間 隔	温度	5°C	20°C	30°C
	最小	5時間	3時間	2時間
	最大	3日	3日	3日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

7. 関連法則

	A 液	B 液
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第3種有機溶剤含有物	第3種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意【警告】

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。